



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2014年10月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	10月度	9～10月度累計
百貨店事業	▲ 1.7	▲ 1.4
パルコ事業	0.3	2.1
卸売事業	▲ 9.7	▲ 8.1
クレジット事業	0.7	10.0
その他事業	5.3	3.7
連結合計	▲ 1.6	▲ 0.8

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・10月度の百貨店事業の売上高は、婦人・紳士ともコートが好調に推移し、ラグジュアリーブランドも売上を伸ばしたほか、訪日外国人売上の増加による嵩上げ効果もあったものの、2度の台風上陸により閉店時刻の繰上げなども含めた大きなマイナス影響があったことにより、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲1.6%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲1.7%減となった。

2) パルコ事業

- ・2度の台風上陸によるマイナス影響があったものの、バッグなど身回品の好調や、企画型カフェのヒットにより飲食が順調に推移したことに加え、カード顧客を対象に実施した販促プロモーションや、一部店舗において開催した地元プロ野球球団の優勝・応援セールによる押し上げ効果も見られたことなどから、パルコ事業合計では対前年0.3%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、化学品・生活資材が好調であったものの、電子デバイス、ホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲9.7%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店・お得意様ゴールドカードのクレジット化による年会費受入の増加などが寄与し、対前年0.7%増となった。
- ・その他事業は、人材派遣業のディンプルが好調であったことや、今期よりフォーレストが加わったことにより、対前年5.3%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2014年10月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	10月度		9～10月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	1.3	▲8.2	▲0.4	▲8.5
大丸 梅田店	2.3	▲17.7	2.1	▲16.1
大丸 東京店	2.0	▲7.0	2.0	▲7.5
大丸 浦和パルコ店	▲7.4	▲3.8	▲8.1	▲4.6
大丸 京都店	2.0	▲8.0	1.9	▲7.4
大丸 山科店	▲7.5	▲7.5	▲5.8	▲6.3
大丸 神戸店	▲0.1	▲11.9	0.2	▲10.1
大丸 須磨店	▲5.8	▲16.9	▲3.9	▲14.2
大丸 芦屋店	▲0.8	▲9.3	▲4.4	▲9.4
大丸 札幌店	0.6	▲13.6	▲0.4	▲14.4
松坂屋 名古屋店	▲3.9	▲6.1	▲0.5	▲6.3
松坂屋 上野店	▲15.8	▲28.8	▲16.4	▲27.2
松坂屋 静岡店	▲9.2	▲5.3	▲4.5	▲0.3
松坂屋 高槻店	▲6.3	▲21.1	▲4.1	▲19.5
松坂屋 豊田店	▲4.5	▲2.8	▲2.3	▲4.8
大丸松坂屋百貨店合計	▲1.6	▲11.8	▲1.1	▲11.3
博多大丸	▲2.0	1.8	▲3.5	▲1.4
下関大丸	▲0.6	▲2.1	▲2.1	▲3.9
高知大丸	▲5.6	▲1.0	▲7.2	▲2.8
百貨店事業合計	▲1.7	▲10.7	▲1.4	▲10.4

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	10月度	9～10月度累計
紳士服・洋品	1.5	3.7
婦人服・洋品	▲0.1	0.3
子供服・洋品	▲5.7	▲2.3
その他の衣料品	▲13.7	▲11.8
衣料品計	▲0.8	0.1
身回品	▲5.7	▲5.0
化粧品	8.7	7.0
美術・宝飾・貴金属	▲0.9	▲0.6
その他雑貨	26.3	30.7
雑貨計	5.3	5.3
家具	▲14.8	▲10.9
家電	16.6	5.5
その他の家庭用品	▲7.0	▲5.0
家庭用品計	▲8.0	▲5.9
生鮮	▲5.5	▲2.4
菓子	▲3.8	▲4.4
惣菜	5.0	3.3
その他食料品	▲8.1	▲6.6
食料品計	▲2.2	▲2.1
食堂・喫茶	▲6.6	▲6.0
サービス	▲20.6	▲21.3
その他	▲5.7	▲6.3
合計	▲1.6	▲1.1

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが2か月連続で前年を上回ったほか、衣料品ではコート、スカートなどがよく動いたものの、ジャケット、ニットなどが苦戦した。紳士服・洋品は、コート、ジャケットなどが好調であった。身回品は、かばん・旅行用品が好調を持続したものの、ブーツなど婦人靴が苦戦した。雑貨は、本月から免税対象品目に加わった化粧品が売上を伸ばし牽引した。食品は、台風上陸にもなる閉店時刻の繰り上げなどによる入店客数減少の影響もありマイナスとなった。